

# 認定NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

## ORMZ ニュース第103号 (R2.2.23)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール [info@ormz.or.jp](mailto:info@ormz.or.jp)) 文責：日高良雄



**はじめに** 中国を発生源とする新型コロナウイルス感染症が大きな話題となって報道されています。各地で新たな患者さんが確認され、人が集まるイベントも自粛されてきています。感染拡大が早く収束すること祈るばかりです。

さて、今度のニュースでは、2月16日開催の総会での承認を受け、昨年の活動報告や決算、そして今年の活動計画、活動予算（活動計算書）をお示しします。

詳しくは下記をご覧くださいと思いますが、昨年4月のランドクルーザーの寄贈をはじめ、これまでで最も多くの賛助会費、寄附金をいただきました。心からご支援に感謝申し上げます。2020年も引き続き、さらなるご支援をよろしくお願いします。

### 会の経過報告等

- ・令和2年2月3日に理事会を、2月16日に通常総会を開催し、2019事業年活動報告、決算、2020事業年活動計画案、予算案等について協議し、原案通り承認されました。
- ・なお令和2年4月1日から2年間、これまでの役員が再任され、理事の互選により日高が理事長を、山元香代子先生が副理事長を引き続き継続して本会の会務、活動を担っていくこととなりました。理事・監事の4名につきまして今後ともご支援のほどよろしくお願いします。

### 2019事業年の活動報告、決算及び2020事業年活動計画、予算について

#### 2019年活動報告

(詳細はホームページ「<http://ormz.or.jp/>」をご覧ください)

**①巡回診療事業** 雨期の道路状況悪化などにより行けないこともあったため、合計45回実施しました。チサンバ郡ルアノ地区に15回、サンダラ村に10回、ニャンカンガ地区に12回、サンダラから更に2時間走った隣のルアノ郡のリテタ地区には8回の実施でした。

なお、巡回診療スタッフの一人である準医師ムレタ氏の住むチボンゴ郡ルカタ地区と、新たにコミュニティヘルスアシスタント (CHA) のメリー氏の住むチサンバ郡チワラ地区に対し、抗マラリア薬、マラリア検査キット、解熱剤などを提供し、ムレタ氏がコミュニティヘルスワーカーとともに、メリー氏は一人で診療を実施しました。

**②倉庫等施設建設** ニャンカンガ地区で患者の待合所としてのベランダが完成しました。またルアノ地区の学校の清潔なトイレ2基も完成しました。サンダラ村の巡回診療を行う建物の近くにトイレを建設中です。

**③コミュニティヘルスワーカー (CHW) のリフレッシュ研修** 5/9～5/11に15名のCHWと1名のCHAに対して研修を行いました。小児保健のマニュアルを復習し、薬剤の処方、特に抗マラリア薬に関する注意事項、レポートの書き方などを彼ら自身のレポートをチェックしながら指導しました。

**④CHW養成研修** 突然亡くなったCHWの補充と雨期の巡回診療に行けない際の患者フォローを行うため等の目的で、リテタ地区からの2名を含む9名のCHW養成研修を11月に3週間実施しました(2020年に残りの研修実施予定)。

⑤**ネイバーフッドヘルスコミッティ (NHC) メンバー等へのセミナー** 4月にルアノ地区、5月にニャンカンガ地区とルカタ地区、10月にサンダラ村でセミナーを実施しました。サンダラではマラリア蚊殺虫剤噴霧活動に関して主に実施しました。

⑤**保健衛生啓発活動** 性病予防に関して若い男性の参加を促す目的でサッカー大会を5月にルアノ・ニャンカンガ地区で実施しました。

⑥**収入創出活動** CHW及びNHCのメンバーの活動を支援するため患者ノート販売を実施しました。

⑦**井戸の修理** 井戸の故障があり、ルアノ地区とムワンタヤ地区の井戸各1基の修理を実施しました。

⑧**マラリア蚊殺虫剤噴霧** 殺虫剤を手に入れることが難しかったことから、マラリア患者の多いルアノ地区のサンダラ・サバニ村とルアノ郡との境界の地域でのみ、11月に噴霧を実施(82家族、137戸)しました。

⑨**活動の広報等** 三重大、秋田大、京都大学、ハンガリーゼゲド大学の医学生、国際医学生連盟の学生、NPO法人ロシナンテスのスタッフなどが巡回診療活動に参加、見学をしました。

活動ニュースをメール等で計12回(第90号~第101号)送信とホームページの更新をしました。

巡回診療のまとめ	"ルアノ地区"	"ニャンカンガ地区"	"リテタ地区"	"サンダラ地区"	合計
	15回	12回	8回	10回	45回
新受付患者数	349	253	216	273	1,091
診療患者数	1,294	694	933	583	3,504
5歳未満児数	363	238	275	161	1,037
疾患別患者数					
マラリア(疑い)	117	28	262	116	523
マラリア検査陽性数/総数	112/1255	28/682	262/930	114/575	516/3442
5歳未満児マラリア検査陽性数	25/351	7/237	89/275	30/157	151/1020
耳の疾患	22	12	7	8	49
鼻の疾患	0	0	0	0	0
のどの疾患	14	10	0	3	27
喘息	8	1	0	1	10
高血圧症	32	29	19	7	87
てんかん疑い	0	31	7	0	38
貧血	12	5	4	4	25
う歯(口腔内疾患含む)	61	39	40	57	197
胃腸炎	113	61	106	54	334
他の消化器疾患	109	71	59	46	285
結膜炎など	104	34	68	54	260
寄生虫疾患	15	28	62	23	128
腰痛などのからだの痛み	246	128	119	101	594
新生物	1	0	0	1	2

頭痛	27	12	24	9	72
原因不明の熱性疾患	6	0	1	2	9
気道感染症	483	319	279	172	1,253
肺炎	26	27	18	22	93
栄養不良	3	5	5	4	17
皮膚疾患	154	93	35	52	334
外傷	11	9	3	8	31
熱傷	4	3	0	0	7
ビルハジア(寄生虫疾患)	7	2	60	20	89
性感染症	28	10	9	9	56
他	30	20	38	29	117
妊産婦健診受診者数	245	80	43	74	442
家族計画受診者数	362	157	16	101	636
HIV/AIDS 検査陽性数/総数	6/153	1/37	1/19	1/66	9/275
巡回診療後の CHW によるマリア検査陽性数/総数	684/1552	571/1018	303/474	513/769	2071/3813

\*注 12月実施分については数字に含まれていない

## 2019年決算報告

・**経常収益** 会費・賛助会費収入が4,489,638円（前年比約10万円増）、寄附金収入が寄贈されたランドクルーザー新車の価格約650万円を含めて23,423,394円（前年比約1200万円増）で、雑収益を含め**総計は27,943,675円**となりました。ランドクルーザー寄贈分を除いてもこれまでで最も多くのご寄附をいただき、予算を大きく上回りました。

・**経常費用** 支出の多い順に車両維持費2,147,849円（1年ほど修理に要した車の修理代が多額だったことがあり前年比約130万円増）、薬剤購入費1,714,484円（前年比約40万円増）、旅費交通費（レンタカー代、ガソリン代）1,612,086円、人件費（現地での雇用、臨時雇いあげ費）1,176,581円などで、**総計13,010,284円**でした。

当初予算では、ザンビアで新たな日本人の雇用を予定しそのための人件費を計上していましたが、雇用のための手続きが難航した事等で雇用できなくなったため、大きく減額となりました。また、固定資産の車3台の減価償却費が、新車の寄贈を受けたこともあり**222万円**余りとなりました。

・**経常外収益** 2018年に取得した車（ファンカーゴ）を2019年に固定資産として修正処理したため前期損益修正額として**53万円**余りを計上しています。

・**繰越正味財産** 結果、当期正味財産15,468,633円の増額となり、繰越正味財産は**31,667,838円**となりました。

## 2020年事業計画、予算

・2020年もこれまで同様、巡回診療事業、地域住民への保健衛生啓発事業を継続実施します。

①**巡回診療** ルアノ月2回（家族計画来所者が増えたため）、ルアノサンダラ村、ニャンカンガ、ルアノ郡リテタの3地区でそれぞれ月1回実施（サンダラ村、リテタは雨季で通行が難しければ、一時中止とする）。これらは使用できる車両の状況によって変更される可能性あり。

